

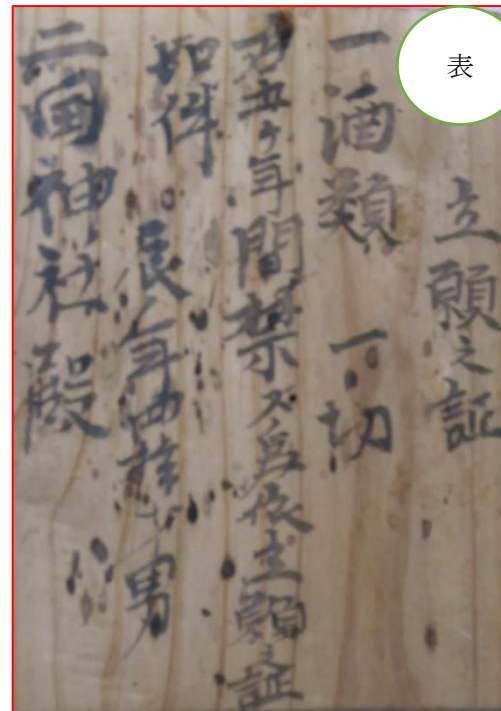
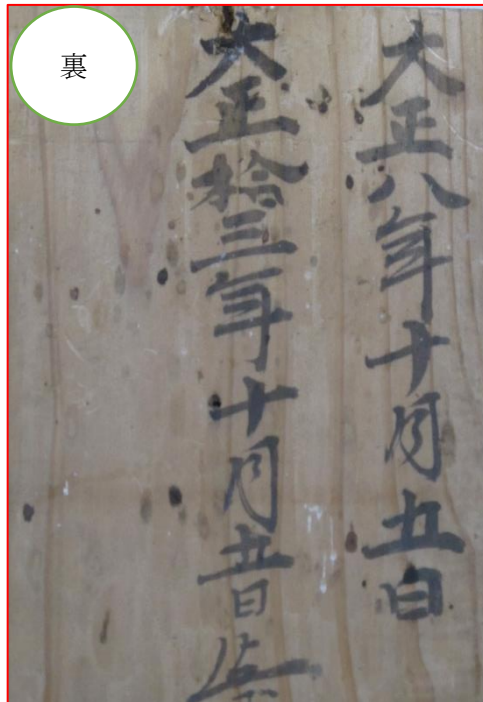
# 金浦瓦版

編集・発行：金浦区自治会

作成日：2023. 5. 8

二国神社遺物シリーズ 2 二国神社祈願札

旧二国神社の本殿は、業者によって昨年（令和4年）10月に新しい二国神社に移設しました。その際に本殿の跡地から数点の遺物（立願札・修繕札・寄付札）が出て来ました。そこでこれらの年代や書かれている意味を読み解き時代背景や氏子の思いを子々孫々にまで伝えていきたいと思えます。



本修護摩供守護  
神懸石門洞  
本坊極楽寺

立願之証

一酒類一切

右五ヶ年間禁ズ為依立願之証

如件

くだんのごとし  
前記記載の通り

辰年 男

二国神社 殿

大正八年十月五日  
大正拾三年十月五日

極楽寺（豊岡市や丹波市にあるお寺だと思えます）この寺の僧侶によってなされた護摩祈祷の札を持ち帰って、お宮さんに納められたものだと思えます。

辰年生まれの男性が、大正8年（1919年）から大正13年の5年間は一切酒類を絶つことを二国神社の神様に立願（神や仏に願い事をする）したことを記したお札です。普通は絵馬に願い事を記して祈願したりしますが、手作りの木の板で代用したのでしょうか。お酒で体を壊したか、失態をしでかしたのか。5年間と言う並々ならぬ決意が伺えます。